

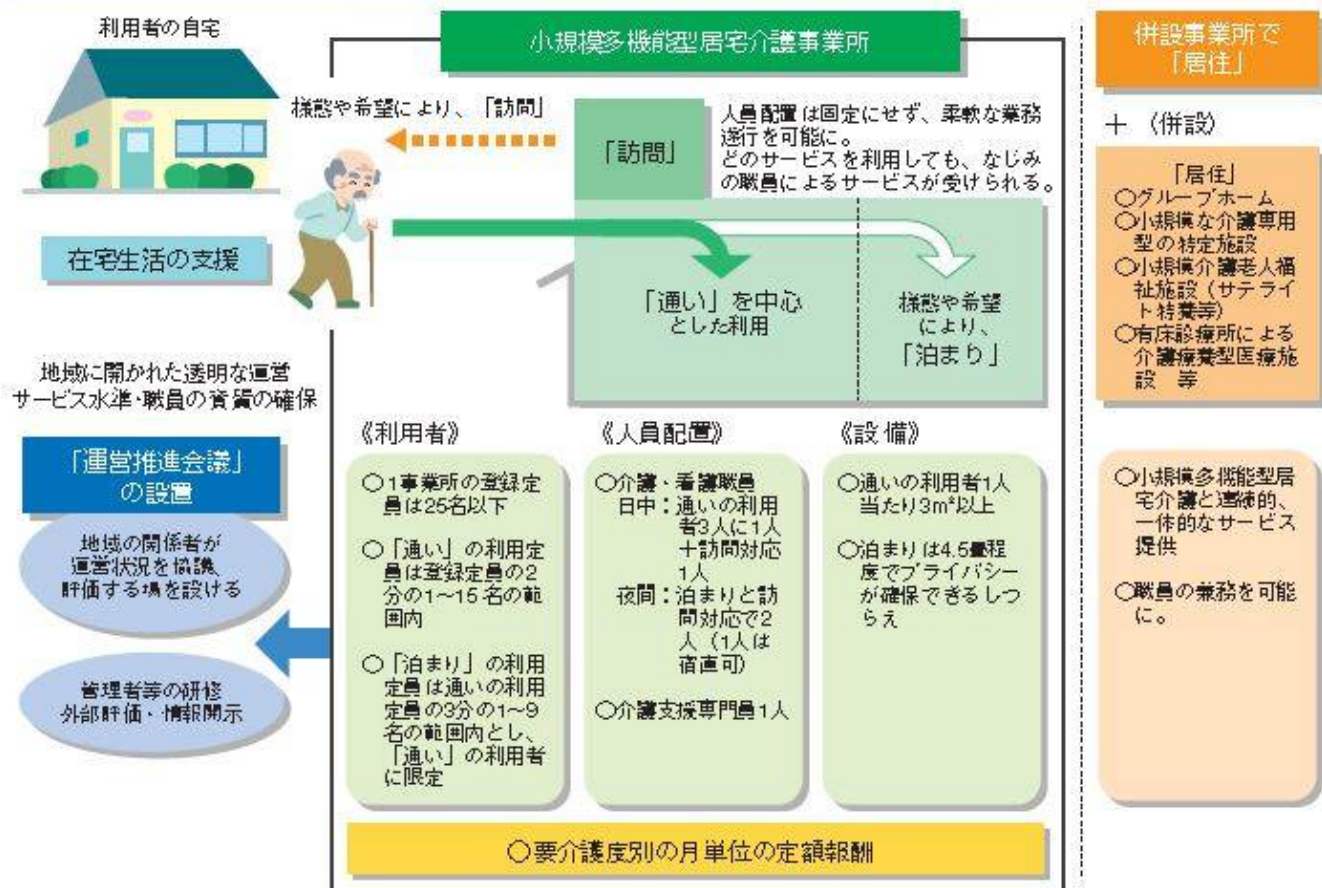
## 地域密着サービス(グループホームなど)の事業所の評価を調べる

光嶋康一

介護保険には、在宅サービス、地域密着サービス、施設サービスがあります。その中の地域密着サービスは、住み慣れた自宅や地域で生活を継続できるようにするため、身近な市町村で提供されるサービスです。その代表的なサービスにグループホームと小規模多機能型居宅介護があります。グループホームは、9人を1ユニットとした個室を基本とした共同生活の場です。一方、小規模多機能は、通いを基本に、必要に応じて泊まりや訪問サービスを受けることが出来る臨機応変なサービスです。小規模多機能は、比較的新しいサービスで事業所の数も少なく、まだまだ認知度が低いですが、利用者にとっては、様々なサービスがひとつの事業所で組み合わせて利用できる優れた面もあります。参考に、下記にその仕組みを示します。

### ■小規模多機能型居宅介護のイメージ

基本的な考え方：「通い」を中心として、要介護者の様態や希望に応じて、随時「訪問」や「泊まり」を組み合わせることで、中重度となっても在宅での生活が継続できるよう支援する。



(厚生労働省:介護保険制度改革の概要より抜粋)

皆さんは、地域のグループホームと小規模多機能型居宅介護の事業所のサービスの状況を調べたいと思ったことはありませんか？

上記の2つのサービスについては、利用者や家族が事業所の状況を客観的に把握出来る様に、第3者の評価を受けて公表することが義務付けられています。その結果は、独立行政法人 福祉医療機構のホームページ(WAMNET ワムネット) <http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/>に公表されています。(ワムネットで検索して下さい) このホームページに行き、「介護」→「介護保険地域密着型サービス外部評価」の項目で個別の事業所を検索でき、外部評価を見ることが出来ます。2013年12月24日現在、全国でグループホームは65,745件、小規模多機能は11,762件掲載されています。その中身ですが、総評と外部評価と自己評価などが記載されています。全部で55項目あり、すべてについて自己評価が記入されています。そのうちの20項目について外部評価結果が記入されています。また、今後の課題なども記載されています。

それを見ることによって、その事業所の特徴や力を入れていることなどが分かります。ご自分の近くの事業所を検索してみてください。色々なことが分かります。